令和８年度　広島県病害虫発生予察情報　技術情報第６号

令和８年 10 月 29 日（木）発表　広島県西部農業技術指導所

特定外来生物クビアカツヤカミキリの発生に注意しましょう

1　県内の状況

（１）　技術情報第５号（令和８年 10 月２日発表）でお知らせのとおり、現時点では当県内の被害は確認されていません。一方で、９月１日に当県通報フォームにクビアカツヤカミキリの成虫と思われる写真の投稿があり、注意が必要な状況です。

（２）　技術情報第５号で、採集や分析の途中経過をお知らせしたフラス（幼虫が出した木クズと糞の混合物）は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構により、すべてクビアカツヤカミキリのものでは無いことが判明しました。

（３）　本県では、農林水産省の通知により、令和８年 11 月までに県内全域で本種に関する緊急調査を実施します。モモ、スモモ、ウメ、アンズ等バラ科サクラ属果樹の生産者の皆様等は現地調査または聞取り調査への、ご協力をお願いします。

2　生態及び被害

（１）幼虫は樹木の内部で２～３年過ごして食害し、成虫は５月下旬以降に樹から脱出して交尾や産卵を行います（図１）。雌成虫は、１頭当たり数 100～1000 個と非常に多くの卵を樹皮の隙間などに産み付けます。

（２）本種はバラ科サクラ属の樹木（モモ、ウメ、スモモ、アンズ、サクラ等)を主に加害します。幼虫が幹や枝の内部を食害すると樹勢が低下し、被害が進むと樹木が枯死することがあります。

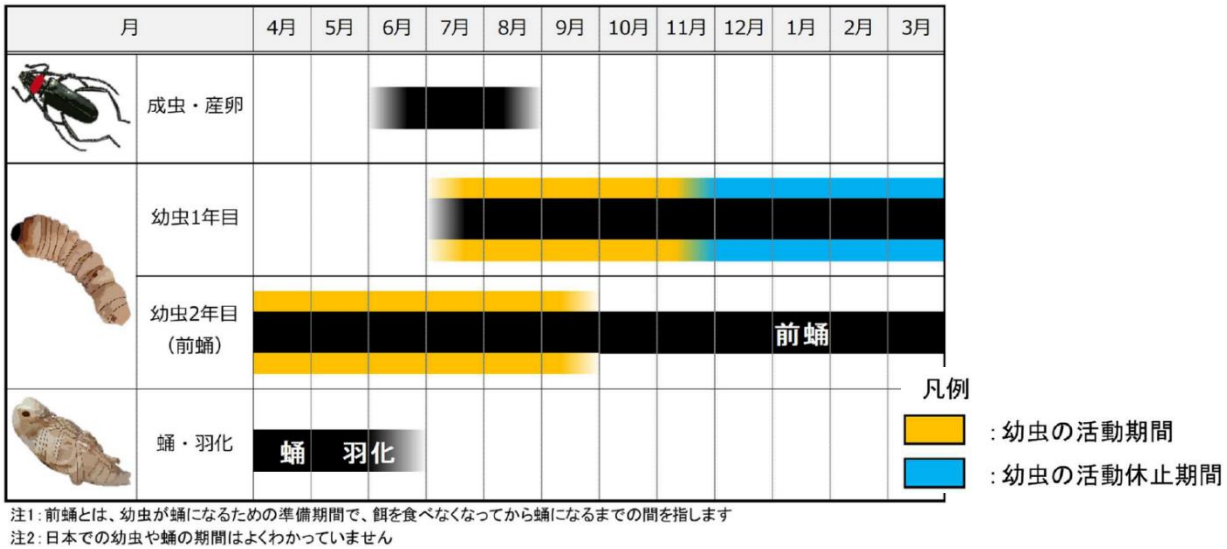


図１　クビアカツヤカミキリの生活サイクル

（図提供：東京都環境局）

3　ほ場の点検及び見分け方と注意事項

（１）ほ場での発生が無いか（２）～（４）に沿って点検し、疑わしい場合は、以下の URL または QR コードから情報提供をお願いします。

「クビアカツヤカミキリ通報フォーム」↓　→

https://f8032958.form.kintoneapp.com/public/kubiakatuyakamikiri

（２）成虫は 2cm～4cm 程度で真っ赤なクビ（胸部）とツヤツヤした黒い体が特徴的です（図２）。
（３）幼虫が樹の内部を食害し、フラスを大量に排出します（図３）。樹幹や株元付近をよく観察しましょう。フラスはルーペ等で拡大して観察すると、スプーンでくり抜いたようなフレーク状の細かい木片が含まれています（別紙参照）。
（４）成虫や幼虫は見つけ次第、その場で捕殺してください。クビアカツヤカミキリは特定外来生物に指定されているため、飼育や生きたままの運搬・保管・野に放つことが原則禁止されています。なお、同定が必要な場合は、死亡個体を保管してください。

５　防除上の注意

（１）フラスを見つけた場合は、フラス排出孔に針金などを差し込んで、幼虫を刺殺しましょう。
（２）捕殺の成否に関わらず、食入孔のある樹幹部にネット等（目合い４mm 以下）を巻き付け、羽化した成虫の移動分散を防ぐとともに、ネットの中に成虫を見つけたらその場で捕殺しましょう。
（３）被害が大きい樹は、伐採して近隣の木への加害を防ぎます。伐採後は速やかに処分するか、すぐに処分できない場合は成虫が飛散しないようネットや袋等で覆い、なるべく早く処分してください。
（４）成虫が産卵を行う８月頃までに、各作物に登録のある薬剤で防除しましょう。特に収穫期に防除ができていないほ場では収穫後の防除を徹底しましょう。
（５）なお、最新の農薬情報は、農林水産省ホームページ「農薬コーナー」の「農薬登録情報提供システム（https://pesticide.maff.go.jp/）」を参照してください。

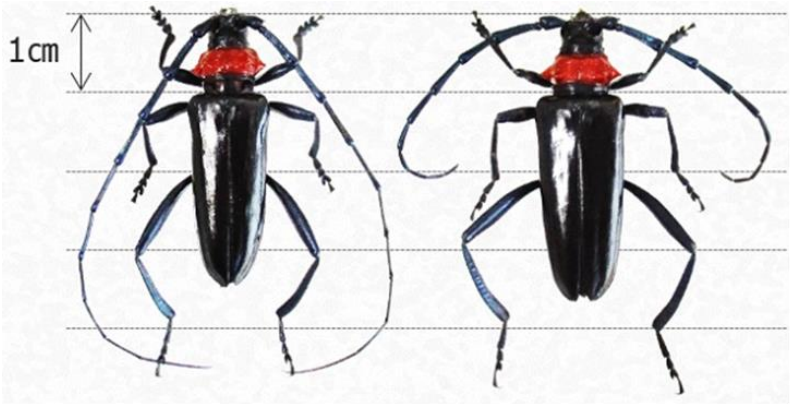


図２　成虫の大きさ(左がオス、右がメス)



図３　木の根元にたまったフラス

（図提供：群馬県環境森林部自然環境課）

お問い合わせ先
広島県西部農業技術指導所植物防疫チーム
〒７３９－０１５１
東広島市八本松町原 6869
TEL：082-420-9662（直通）

ひろしま病害虫情報はこちら ひろしま病害虫情報 メルマガ登録はこちら ひろしま病害虫情報 メルマガ登録



ひろしま病害虫情報
（https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/）

（別紙）

フラス（幼虫が出した木クズと糞の混合物）の見分け方

【クビアカツヤカミキリのフラスの特徴】

○ 主に樹種がモモ、スモモ、ウメ、アンズ、サクラ等のバラ科サクラ属である。
○ 樹から、うどん状（かりんとう状）に大量に排出される。（月日がたつと形が崩れる）
○ ルーペ等で拡大すると、スプーンでくり抜いたようなフレーク状の木クズが見られ判断しやすい。

【観察のポイント】

○ 根元周り、幹回周り、主枝の分岐部の上部等を重点に観察する。

【似ているフラスの比較】

クビアカツヤカミキリのフラス





（図提供：東京都環境局）

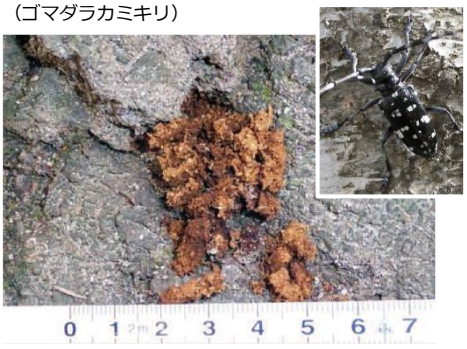
クビアカツヤカミキリではないフラスの例

コスカシバ（スカシバガ科）



不定形で、樹液が漏出することが多い。
色は通常暗褐色で、フラスの中の糞が赤く丸く見える。

その他のカミキリムシの例
（ゴマダラカミキリ）



ほぐすと繊維状の木クズを含んでいる

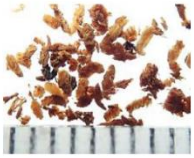
ケアリ類（アリ科）



塊ではなく、線状に連なっている。材質は細かい木くずが多いが、本種のフラスを利用している場合もある。

（図提供：東京都環境局）
※ ゴマダラカミキリの成虫写真除く

拡大して比較

	クビアカツヤカミキリ	その他のカミキリムシ	コスカシバ
主な構成物 （３倍拡大）			
	薄く短い木くず	繊維状の木くず	粒状のフン

（図提供：群馬県環境森林部自然環境課）